

新しい風

ゆ め
YOU&MEプラン21特別号

思いやりあふれ
ともに輝けち
飛騨高山



一歩前進するための第3次計画

高山市が男女共同参画をすすめるはじめて10年。その間に社会や経済の状況は変化し、私たちのライフスタイルもどんどん幅広く、多様になってきています。

そのような状況の中で、平成18年には「第2次高山市男女共同参画基本計画」をつくり、性別に関わらず、あなたらしく、私らしく輝ける「男女共同参画社会の実現に向け取り組んできました。

そして、今回「第3次高山市男女共同参画基本計画」では「自分らしく輝ける」ことから更に一歩前進して、「認めあいともに思いやる」ことを目標に取り組み、個人の自己実現が社会や経済の発展に結びついて、よりくらしやすい市となることを目指します。

そんな、性別に関わりなく誰もがお互いに尊重しあえる社会、喜びも責任も分かちあってみんながくらしやすい社会を、市・市民・事業者・地域が一緒になって考えつくりあげるために、「第3次男女共同参画基本計画」をつくりました。

高山市の男女共同参画について、

第3次計画ができました。

【めざす姿】

思いやりあふれ ともに輝くまち

飛驒高山

高山市は、

性別に関わりなく自分らしく輝けるまち、

そして、お互いの個性や違いを認めあい、感謝と

思いやりを持って尊重しあえるまち、

そんな姿をめざします。

「育児も仕事もあきらめたくない！」

「自分の力を、地域の中で活かしたい！」

こんなとき、周りの人の理解や会社・市の制度など、

それぞれの生き方を、周りが認めることができる環境があることで

誰もがくらしやすく、豊かに生きることができます。

【基本目標】

めざす姿を達成するための計画の目標

一、ともに生きる

家族の絆を大切にし

ともに思いやり

助けあう家庭

一、ともに学ぶ

生涯を通じて

豊かな人間性を形成し

可能性を引き出す教育

一、ともに働く

働く喜びを感じ

仕事以外の生活の充実を実現でき

安心して働きつつつけることができる職場

一、ともに創る

互いの個性を認めあい

活かしい

支えあつて創る地域

一、ともに進める

市・市民・事業者・地域が

連携・協働して進める

まちづくり



※ここに掲載したのは計画の一部です。

詳しい施策などは、「第3次高山市男女共同参画基本計画」をご覧ください。

(計画本紙は図書館などでの閲覧他、市HPからもダウンロードできます)



そんな「みんなが思いやりをもって輝きあえる」まちをめざすためには、私たち一人ひとりが「思いやり」を実践することが不可欠です。

性別や年齢、働き方、家庭の状況…みんな異なるライフスタイルの中で、それぞれの立場で自らの問題として考え、連携・協働しながら実践することを通じて誰もがぐらしゃやく、誰もが働きやすく、誰もが輝けるように。

第3次計画では、「市」「市民」「事業者」「地域」がそれぞれの立場での役割を示して、みなさんに実践していただけるよう取り組んでいきます。

市の役割

- 一、家庭のために
 - 役割分担意識を柔軟にするため、各世代に向けて意識啓発を行います
 - DVの防止や被害者支援に取り組みます(本計画を、高山市DV防止基本計画として位置づけました)
- 一、教育のために
 - 生活や性別に関わらず、誰もがいつでも学べる環境をつくります
 - 学校や家庭などを通して、働くことや性についての教育を充実します
- 一、職場のために
 - 多様な働き方を認めあえるように、市民・事業者・自営業者などへ理解を促します
- 一、地域のために
 - 住民の手で、地域の課題を見つけ解決できる仕組みづくりを応援します

市民の役割

- 一、家庭のために
 - 慣習やしきたりにこだわらず、互いに認めあい、尊重しあいましょう
 - 役割分担や生涯設計について家庭で考えて、生活を見直しましょう
 - DVをしない・させない環境をつくりましょう
- 一、教育のために
 - 男女共同参画に関わる講座に参加するなど、関心をもって知識をつけましょう。
- 一、職場のために
 - 一人ひとりがワーク・ライフ・バランス[※]のあり方を考え、実現できる職場をつくりましょう
- 一、地域のために
 - 誰もが関わりながら住みやすい地域をつくりましょう

事業者の役割

- 一、家庭のために
 - 育児・介護をはじめとする各種休暇や短時間勤務が取りやすく、誰もが働きやすい職場をつくりましょう
- 一、教育のために
 - ワーク・ライフ・バランスについて情報収集し、教育や研修を行いましょう
- 一、職場のために
 - 性別に関わらず、個性や能力に応じた人材育成・啓用をしましょう
 - セクハラなど性差別のない職場づくりに積極的に努めましょう

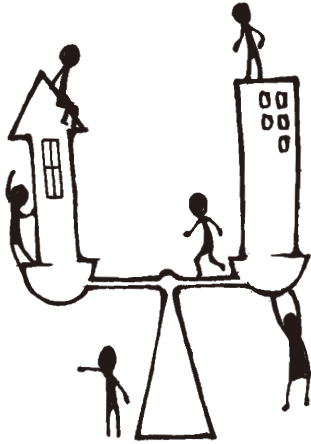
地域の役割

- 一、教育のために
 - 地域づくりの講座に参加するなど、後継者を育てましょう
- 一、地域のために
 - 多様な人材が参画するために、新しい人材を活用しましょう
 - 誰もが安心して暮らすことのできる地域をつくりましょう
 - 仕事以外でもやりがいを感じられる、充実した活動の場を設けましょう

※「ワーク・ライフ・バランス」仕事と生活の調和。仕事と家庭・地域生活のどちらも充実した生活の実現のこと。

大きく3つの方向を定めてめざす姿へ向かいます。

1 家庭生活と仕事の
バランスがとれる
環境の整備



市民に対する意識啓発や情報提供のみならず、環境整備の推進や事業者に対する広報・啓発活動などを積極的に行います。

2 地域づくりにおける男女共同参画の
推進



市民が主体的に地域づくりに参画し、活動を展開するための意識啓発や支援、各種事業の充実などをすすめます。

3 あらゆる暴力等の
根絶



どのような場合であっても暴力は許されない行為であることを再認識し、その防止対策から被害者支援などを総合的にすすめます。

平成26年度までに、次の3つの目標の達成を目指します

指標	現状	目標値	なんのための目標？
女性のいない審議会などの数	4	0	政策や方針を決める過程のなかに、女性の参画を進めるための目標値です。 (市の設置する審議会において)
審議会などにおける女性委員参画率	30.7%	40.0%	
社会全体での男女平等について「平等である」と回答する市民の割合	17.6%	50.0%	重点施策を進めることによって、家庭・教育・職場・地域など、どんな場面でも平等だと感じる人を増やすための目標値です。

あなたとわたしの男女共同参画情報誌 新しい風 No.38 2010年3月15日発行

【発行】高山市市民活動推進課

〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地

TEL 0577-35-3412 FAX 0577-35-3414

E-mail shisui@city.takayama.lg.jp

HP <http://www.city.takayama.lg.jp/shisui/josei/index.html>

■この情報誌について、ご意見などをお寄せください。